

日本大学三島高等学校 同窓会会報

第 29 号

平成 12 年 3 月 1 日
静岡県三島市文教町 2
日大三島高校同窓会 発行



御挨拶 新世紀にむかって

会長 高田菊平

会員の皆様方には、お元気に御活躍のことと存じます。日頃の同窓会活動に対する御尽力に心より感謝申し上げます。

さて、今年は西暦2000年という大変大きな節目を感じさせる年となりました。21世紀へ向けての最後の年であると同時に、社会の、経済の変化が怒濤のごとくおしよせている様が、新しい世紀の幕あけの波乱を思わせるようあります。

ここ2～3年の経済の状況をみれば、既成概念を打ち破る、領域をこえた戦いが激しく続けられ、企業の吸收、合併、資本提携、倒産など、強者、弱者の関係がよりはつきりとしてきているように感じています。

ある大学の教授が講演会で話したときに聞いた言葉の中に、まさに現在の状況を表わしているものがありました。それは、過去と現在を比較していますが、過去は、



Big Eat Smallであり、現在は Fast Eat Slowである、というのです。過去は何事につけても大きいことはいいことだ、でありましたが、現在はどれだけ時代の変化に早く対応するか、できるか、又、したかが勝者になれるのであって、企業の大きい小さいではない、というのです。まさに今私共の周囲はめまぐるしく変化し、特にI.T (Information Technology) といわれる情報革命はそのスピードに圧倒されるほどであります。

このようなとき、これに対処していくには自らが変化しなくてはなりません。自らの目標をはっきりともつことが大切であると思います。私達はえててこのような荒波があるとき、その波に抵抗してしまいがちですが、その荒波に身をまかせうまくのりきる術をみつけるようにしなくてはならないと思います。

新しい世紀にむけて、それぞれに大きな変革が求められているのだと思います。

会員の皆様はどう感じておられるのでしょうか。

（平成12年2月1日）

第1期生・ニューデルタ工業株式会社社長
(三島市梅名)

伝統から未来へ

新世紀へのかけ橋



桜陵祭・平成11年5月



新世紀をめざして

校長 山内昭二

早いもので、本校の卒業生も第40期生になりました。昭和33年4月、本校が開校し、昭和36

年3月第1回卒業生を送り出して以来、今年度で開校41周年を迎え、40回目の卒業生を送り出すことになりました。卒業生は今、第40期生として同窓会に入会することになりました。先輩の皆さん786名の新入会員をよろしくお引き廻しのほどお願い致します。卒業生の諸君は先輩諸氏といろいろな機会に接触し、謙虚な気持ちで先輩の話を聞いていただきたい。君達の人生に必ず役立つことが沢山あると思います。

今、学校を取り巻く環境は大変厳しいものがあります。何といっても少子化問題は公私をとわず深刻な問題となっています。現在の小学校3年生までに20%も子供の数が

減少してしまうのですから大変です。静岡県では今年中学生を卒業する生徒が4万5千人いますが、先程の小学校3年生は3万7千人です。この後は、ほぼ同じくらいの生徒数で推移していきます。6年間で8千人も減少します。全国では150万人が120万人になってしまいます。県内では1学年280人級の学校が(沼津東、韮山の規模)6年間で28校いらなくなる数です。大学も同様です。現在の大学進学率が45%ほどです。例え50%に進学率が上昇しても6年後には60万人の人しか大学を志望しないことになり、現在、80万人の大学定員を大幅に下回ることになり、倒産する大学が出てくることは明らかです。この少子化時代を迎えて、今、本校では21世紀に相応しい学校に生まれ変わる準備をしています。新しい教育課程と情報教育に適合した新校舎の建設、国際交流の推進、地域に根ざした適正規模の付属高校として、大きく変化発展する21世紀を迎えることを考えています。2000年を迎える年度から新しい制服に変わります。どうか今後とも同窓生の皆様の変わらぬご協力をお願い致します。

新入会員を迎えて



矢部 裕淑 (14期)

第40期生の皆さんのお卒業をお祝いするとともに、同窓会への入会を心より歓迎いたします。

「21世紀を目前にして」と言

えば明るい未来を予感しますが、現実は相当厳しい状況に置かれています。この状況を乗り切るために、学校としても、時代の流れに沿った新しい改革を取り入れながらも、皆さんが培ってくれた伝統をしっかりと守り、社会の変化に対応していくことが必要なのです。これからは社会と結びつきのない学校には発展はありません。ですから今後益々同窓生としての皆さんの力が必要となってくるのです。と言っても大げさに考えるのではなく、たまには母校に来て世間話でもしてくれればいいのです。そういう小さな「縛」こそが、母校の発展へと繋がっていくものだと確信しています。

我々教員も母校の発展のために全力を尽くしていきますので、皆さんも同窓生として、母校をあたたかく見守つていって下さい。

—各支部長一覧—

支部名	三島	田方	沼津	御殿場	富士	富士宮	静岡	熱海	小田原
氏名	永井嘉大	内田敏明	今井信之	武藤康徳	西村雅幸	秋山一雅	辻韶彦	谷口俊司	川口功一
住所	駿東郡長泉町納米里一〇四一三	田方郡大仁町吉田八三九一四	沼津市市場町一〇一一	御殿場市二枚橋五一四一四	富士市横割六一二二五	富士宮市浅間町四一一五	静岡市呉服町二一八一九	熱海市上多賀九二〇一	小田原市東町四一五一一〇
T E L	(〇五五九)八七一七三七〇	(〇五五八)七六一三三三七	(〇五五九)三一一七八七八	(〇五五〇)八三一〇四二三	(〇五四五)六一一五一七五	(〇五四四)二六一三八四七	(〇五四二五三一〇〇二六	(〇五五七)六八一四〇二三	(〇四五)三四一三五三七

平成11年度 事業報告

1 総会 10月23日 田代パレス

- (1) 会長挨拶 (2) 母校校長挨拶
- (3) 議事（事業報告・決算報告・役員改選・事業計画・予算・規約改正） (4) 懇親会

2 幹事会

- (1) 9月30日 田代パレス 総会について
- (2) 2月3日 田代パレス 入会式、会報について

3 事業

- (1) 2月26日 第40期生入会式 母校8号館
表彰（奨学金）山本 貴也・和田 哲征
(奨励金) 山岳部 全国高等学校選手権優勝記念講演
「諦めたら負けだ」
講師 舞の海 氏(スポーツ解説者)
元大相撲小結 技能賞5回
- (2) 3月1日 同窓会会報第29号発行

入会の言葉



新世紀へ向かって

40期生代表 市川 恒崇

私達、平成11年度卒業生一同は、3年間の日大三島高校での全教育課程を無事に終了し、第40期日大三島高校同窓生として、伝統ある同窓会に入会させて頂くこととなりました。

私達の在学中には様々な事がありました。トンネル等からのコンクリート落下や原子力関連事故、2000年問題や宗教問題、そして多くの犯罪等。それぞれ日本の技術や仕組み等に多くの課題を残しました。私達は21世紀に生きていく者として、諸問題を解決すべく、様々な努力をしていかなければなりません。私達は高校3年間で学んだことを生かし、明るい未来を創造していきたいと思います。

私達で40期生目という長い歴史を持った同窓会に入会させて頂けることを喜ばしく思っております。先輩方のご指導と、ご支援のほどをよろしくお願ひいたします。

4 支部

- (1) 静岡支部 5月14日 日興会館
- (2) 田方支部 12月11日 源氏
- (3) 三島支部 1月28日 摩天楼酒家

山本貴也君と

和田哲征君に奨学金

山岳部に奨励金がおくられる

同窓会は表彰規定に基づき、山本貴也君と和田哲征君に奨学金（5万円ずつ）をおくります。この奨学金は母校在学中、学業成績・人物・自治活動・健康に優れ、有為な人物として校長より推薦された人におくられます。また今回は、山岳部が全国高校総体において優勝しましたので、部に対して奨励金（10万円）がおくられます。お二人の今後のさらなる健闘と、山岳部の活躍を同窓生一同、心より期待しています。おめでとうございました。

クラス幹事

1組 櫻井 啓子	11組 山本 恭子
2組 川下 知恵	12組 大谷 佳裕
3組 内田 知宏	13組 斎藤 祐子
4組 原一純	14組 大巾 雅広
5組 勝野 清隆	15組 坊山 央
6組 福田 基紀	16組 鈴木 毅
7組 大嶽 哲朗	17組 市川 恒崇
8組 高野 麻衣	18組 半田 千尋
9組 神林 大介	19組 露木 伸哉
10組 米山 雅子	20組 藤曲 由希

以上の人たちが各クラス幹事として選ばれました。将来、同窓会をひらく時などは、上記の幹事を中心として連絡をとり合ってください。

お願い

同窓会員として、様々な形で活躍しておられる方も多いと思います。クラス会などをひらいた人たちもあると思います。そんな話題を、母校同窓会事務局までお知らせください。

平成11年度に定年退職を迎える先生方



山内昭二校長



水島敏行先生

——英語科——

平成12年3月31日付



藤田紀弥先生

——英語科——

平成12年2月10日付



富田 實先生

——数学科——

平成12年3月2日付



石川渥之先生

——芸術・家庭科——

平成12年3月31日付

上記の先生方が本年度で定年退職をされることになりました。同窓会員の皆様もさぞかし懐かしく思っておられることであります。日大三島での青春の3年間が恩師の顔とともに甦ってくるものと思います。母校を訪れるとそこにはいつも恩師の顔がある。それこそが私学

の伝統というべきものであります。こうした恩師がおられなくなるのは寂しいかぎりですが、我々同窓生としては、その恩師の第二の人生が、幸福に満ちたものであることを祈らずにはおられません。どうぞ先生方、お元気につれからもご活躍ください。

同窓会入会式

平成12年2月26日(土)

一式次第一

- 同窓会会长挨拶
- 母校校長挨拶
- 新入会員代表挨拶
- 出席役員・幹事紹介
- 卒業記念品贈呈
- 表彰・奨学金授与

一記念講演一

- 講師 元大相撲小結・「諦めたら負けだ」
舞の海氏(スポーツ解説者)



第40期生入会式



高田会長挨拶



総会(山内校長も参加して)



田方支部

新支部長 内田敏明（3期）

この度、山田守宏田方支部長の後を受け継ぎ、新支部長を務めさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて田方支部では、平成11年12月11日、田京の源氏において

支部会をひらきました。今回は特に、昭和62年より支部長の任にあった山田守宏氏の慰労会となりました。私も田方支部の集まりには毎回出席していますが、年に一度なりとも会員の皆様にお会いすると、ほっとするものがあります。こうした心を持てることこそが、同窓会の存在意義であると思っています。田方は大変に広い地域から成っています。同時に同窓生の数も当然多くなりました。そこで、函南から湯ヶ島までの各地区での集まりを大切にしたいと考えています。どうぞ、さらなるご支援をよろしくお願ひいたします。



支部会 平成11年12月11日(土)「源氏」にて

恩師を囲んで

昭和41年度（7期）の3年4組・B組の合同クラス会をおこないました。恩師は、根本庸光先生と根本尚代先生（旧姓植村）です。特に今回は、先生の古稀のお祝いもしようということで集まりました。尽きぬ話の中に5時間ほどがあつという間に過ぎました。いつまで経っても恩師を中心とした輪を大切にして、楽しい人生を皆さんで送ってゆきたいと思います。またの会を楽しみにしています。

（参加者一同より）



平成11年
2月20日
田代バレス
にて



追悼 竹内和博先生 ご逝去

母校保健体育科教諭、竹内和博先生が、平成11年4月9日、食道癌によりご逝去されました。

先生は、昭和44年4月に母校に赴任されました。以来、教壇に立ちながらスケート部の顧問として活躍され、スケート部は県優勝を29連勝まで伸ばしました。また先生は、スピードスケートの選手として、また監督として30年連続国体に出場されました。平成2年には、静岡新聞社・SBS静岡スポーツ賞を受賞されました。なおスケート部は、今年も県優勝を果たし、30連勝の記録を達成しました。

先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。



同窓会顧問 橋 和彦 先生 ご逝去

母校第3代校長、同窓会顧問であられた橋和彦先生が、平成11年4月25日に心不全のためご逝去されました。

先生は、昭和34年に母校に奉職されました。以来社会科の教鞭をとりながら、図書部主任や女子部主任などをつとめられました。昭和52年11月からは玉津徳太郎先生の後を受けて、第3代校長として母校発展に尽力されました。

先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

三島支部 総会



平成12年1月28日(月)「摩天楼酒家」にて

